

奈良県小学校理科教育研究会研究部

9月（第1回）研修報告

令和3年9月24日（金）於 奈良女子大学附属小学校

コロナ禍で昨年度は研究部を行うことができませんでした。まだまだ油断できない状況が続きますが、オンライン研修も取り入れつつ、今できることを考えて、第1回の定例研修を開催することができました。

3年生の「電気で明かりをつけよう」の 単元について研修をしました。

今年度は奈良女子大附属小学校の長島先生・中野先生を講師に、活動をスタートしました。今回の研修は3年生の「電気で明かりをつけよう」の単元についてです。今回は長島先生にご指導いただきました！



ポイント① 子どもたちにとらえさせたいのは、 電気を通すのかよく分からないもの

回路を使って、電気を通すのか、よく分からないものをたくさん調べてみました。

<今回調べてみた材料>

針金、コーティングされた針金、コンロ周りに敷くホイル、ビン、紙コップ、はさみ

カラークリップ、ヨーグレット（銀色部分）、アラザン（ケーキに使う銀色の小さい球）

ホッチキスの針、ホイル折り紙（カラフル）、銀色ホイルテープ など

- ・接続する部分によって、結果が変わるもの。
- ・形は似ているけれど、素材がちがうもの。
- ・削ることで結果が変わるもの。
- ・食べられるもの。

など、様々なものを試し、結果を比較することで、子どもは「金属」の特徴を見つけしていきます。



カラーの折り紙は、電気を通すでしょうか？
試してみましょう！

ホッチキスの針はどうでしょうか？
アラザンは食べ物ですが、電気を通す
でしょうか？



⇒ 削ると結果が変わることも、先生が伝えるのではなく、子ども自身に発見させたいですね！

ポイント② 子どもは「金属」をどれくらい認識 しているのだろうか？

最近は便利な世の中になり、子どもの生活経験が乏しくなっています。理科の授業で子どもの生活経験を補ってあげた方がよいと言われる中で、子どもは「金属」をどれくらい認識しているのでしょうか。ピカピカしているもの？かたいもの？

これも先生が教えるだけで終わるのではなく、子どもと一緒に





色がついている導線は、コーティングの有無によって結果が変わるようです。

**子どもの好奇心に応えられるよう、あらかじめ実験しておくことも大切ですね！
先生自身が「子どもと一緒に発見していくこと」を楽しんでいきましょう！**

今回も「先生自身が楽しんで体験する」研修を行うことができました。まだまだウイルスの感染状況も油断できませんが、共に学ぶ楽しさを一緒になって発見できる奈小理研究部へぜひお越しください！

次回は、11月12日(金)です。

場所は奈良女子大学附属小学校で、中野先生に担当していただく予定です。